

特定機能に関する考察：

図書館システムの効率的運用のためのEUC (EndUser Computing)機能について

平成13年度総合目録データベース実務研修

図書館システム担当者コース

C班 :佐賀大学 福島正徳

津田塾大学 村田安代

東北大学 照内弘通

EUCとは

コンピュータシステムの区分

- 勘定系システム
大量データの管理・高速処理・一括処理を目的とするシステム
- 情報系システム
大量データの管理・処理を目的としない、個々の情報を重視するきめ細かなシステム

EUC

- 勘定系システムのデータを取り出し、エンドユーザーが加工を加えて利用すること
- エンドユーザーがデータを加工して勘定系システムに入力すること

EUCの経緯

※ 汎用機・ダム端末の時代

- システム側とユーザー側に完全に分離
- システム側がプログラム開発し、ユーザーに提供
- ユーザーが要求したプログラムが死蔵
- システム側の負担のみが増大

※ パソコンの登場

- ユーザー側でのコンピューティングが容易に
- ソフトの充実
- システム側の負担が軽減

EUCのメリットとは

- ✦ システムの柔軟性の向上
- ✦ 業務用データの効率的な作成
- ✦ データの分析機能の高度化

EUCの具体例(1-1)

※ 閲覧システム

- 処理内容

外部システムからの利用者データの一括インポート及び修正機能

EUCの具体例(1-2)

※ 閲覧システム

学生部データ	学 籍 番 号	学 部 コ ー ド	学 科 コ ー ド
--------	---------	-----------	-----------

1 対 1 でコード変換

図書館システム	利 用 者 I D	学 部 コ ー ド	学 科 コ ー ド
---------	-----------	-----------	-----------

学生部データ	学 籍 番 号	学 部 コ ー ド	学 科 コ ー ド 1	学 科 コ ー ド 2
--------	---------	-----------	-------------	-------------

1 対 1 でコード変換

EUC	利 用 者 I D	学 部 コ ー ド	学 科 コ ー ド
-----	-----------	-----------	-----------

インポート

図書館システム	利 用 者 I D	学 部 コ ー ド	学 科 コ ー ド
---------	-----------	-----------	-----------

EUCの具体例(1-3)

閲覧システム

- メリット

- 標準パッケージのカスタマイズ不要
- 提供フォーマットの変更に柔軟に対応
- すべての項目の一括修正が可能

EUCの具体例 (2)

※ 雑誌システム

- 契約マスターのメンテナンス機能

 - 外部ファイルのインポート機能によりデータの一括修正が可能

(利用例)

- 雑誌ごとの新年版価格の契約マスターへのセット

- ・エルゼビア社雑誌の通貨コードの日本円への一括変更

EUCの具体例 (3)

予算管理システム

- 図書費の総合管理機能

- ・システムで扱わない費目 (情報検索・館内複写等) も含めた管理が可能
- ・図書受入、雑誌受入、ILシステム等への理解が高まる
- ・資料の共同購入についても、あらゆるパターンに対応可能

具体的な仕様の記述

✦ エクスポート時

データベースのデータを、条件指定して、ハードディスク・フロッピーディスク等に区切記号つきテキストファイルとして出力する機能を有すること。コードには日本語名称を付与すること。また、1レコード目には項目名を出力すること

✦ インポート時

ハードディスク・フロッピーディスク等に区切記号つきテキストファイルをデータベースにインポートする機能を有すること。インポート処理の際は、項目長、項目タイプ、データの整合性等のチェック機能を有すること

今後考慮すべきこと

多言語対応システムへの対応

- エクスポートしたデータを利用して帳票を出力する場合
UCS対応のソフトを使用
- 非UCS対応ソフトを使用する場合
インポート時に S-JIS UCS コード変換
エクスポート時に UCS S-JIS コード変換